

ア
児童の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自律的な生活

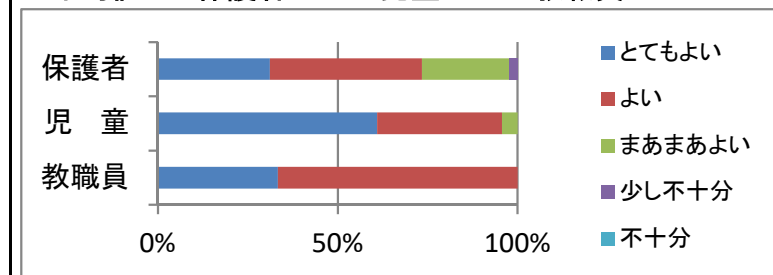
評価項目	自己評価A	協議会委員評価	協議会委員のコメント
基本的な生活習慣を身に付け、主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期 良好	良好	学校を訪問した教育関係者から挨拶がよいと評判である。校内が綺麗なことを言われ嬉しかった。先生方の思いに子ども達が深く考えて、一生懸命答えようとする場面がたくさんあったので、今後も継続することをお願いしたいです。
学 校 自 己 の 評 価 改 善 の 概 要 と 策	【前期(→後期)】今年度も、運営委員会による毎日の挨拶運動や生徒指導部の「ハロー＆スマイルプロジェクト」で挨拶を重点に取り組んでいる。その成果が表れ、児童や保護者からの評価ポイントが昨年度よりもアップした。校内で子ども達同士や来客に対しても、明るい元気な挨拶が響いていることは、やはりとても嬉しいことである。これからも気持ちのよい挨拶の習慣化を図っていききたい。また、これまでコロナの影響で様々な学校行事や学習活動が制限されていたが、再びいろいろな試みができるようになってきたことで、自主的・実践的な態度も育ってきている。子ども達の主体的な活動を支援していききたい。		
	【後期(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
1 基本的な生活習慣	(1)生活習慣の定着	あいさつ運動の推進 時と場に応じた言葉遣いの指導	4	
	(2)規律ある落ち着いた生活	校内のルール・マナーの指導	4	
2 自主的・実践的な態度	(3)自分の考えを生かした活動	係活動・委員会活動の推進	4	
	(4)集団の一員としての活動	学級会活動・クラブ活動の推進	4	

[評価指標1]

(1)元気なあいさつと正しい言葉遣い

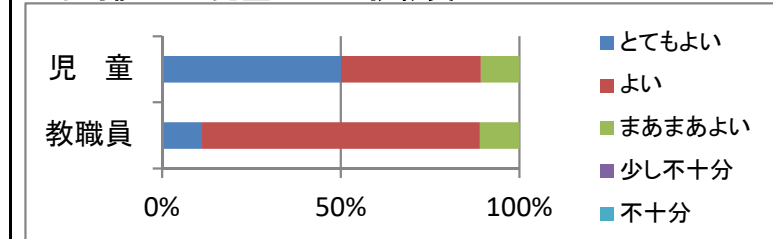
平均値 保護者4.0 児童4.6 教職員4.3



今年も駐在所の方や秋北バスに協力していただき、「交通安全教室」「バスの乗り方教室」を行った。道路歩行・自転車運転・バス乗車について、安全意識を高めることができた。前年度の反省から、今年は路上での自転車練習の前に、グラウンドでの練習を行った。特に路上が初めての4年生にとって有効な取組だった。

(2)規律ある落ち着いた生活

平均値 児童4.6 教職員4.0

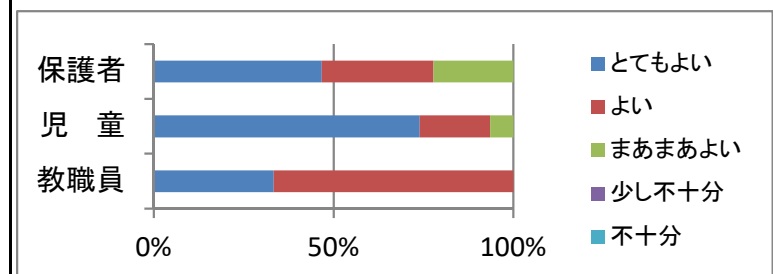


4月に児童総会を行い、児童会テーマを決定した。「力を合わせ、夢に向かって輝く未来へ」には、人数が減ってきているけれど、みんなで力を合わせようという6年生の願いが込められている。このテーマのもと、全校一丸となって何事にも取り組んでいきたい。

[評価指標2]

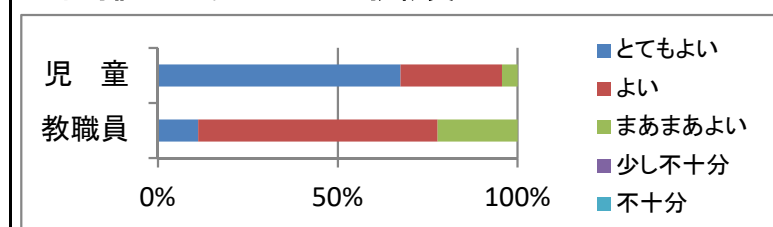
(3)自分の考えを生かした活動

平均値 保護者4.3 児童4.7 教職員4.3



(4)集団の一員としての活動

平均値 児童4.6 教職員3.9



6月は元気な挨拶が響く東館小を目指して「ハロー＆スマイルプロジェクト」を行った。「挨拶玉入れ合戦」は、昨年に引き続き2年目の活動であるが、紅白に分かれて対決するスタイルで子ども達が楽しみながら挨拶を頑張ることができた。また、運営委員会が集会で「1学期の挨拶名人」を選出し、インタビューをした。子ども同士の交流の中から、自分も挨拶を頑張ろうというよい雰囲気が校内に広がり始めている。

ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心 たくましい心

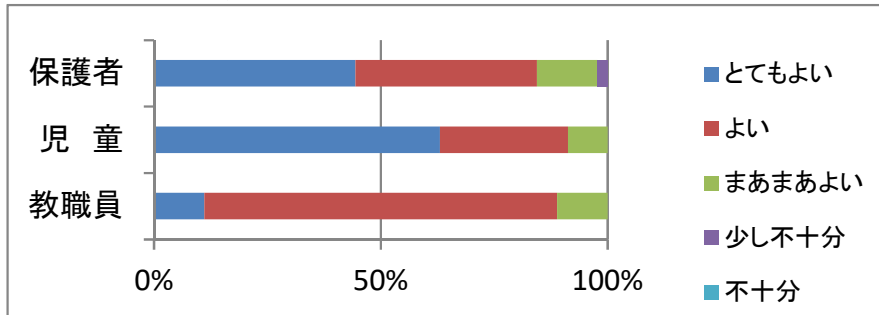
評価項目		自己評価A	協議会委員評価	協議会委員のコメント
互いを認め合い、高め合いながら、学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	良好	良好	高学年も低学年も仲良くやっていて、互いに思い合っていることがよくわかる雰囲気であった。複式学級の授業を参観し、互いに助け合い、思いやることで、授業が成り立っているということを感じました。
	後期			
善要自 策と己 学評 校価 のの 改概	【前期(→後期)】	「思いやり」「自分を高めようとする意欲」「自己有用感」のすべての項目で、児童の自己評価のポイントが上がっている。コロナが一段落したことで、縦割り掃除やランチルーム給食が、またできるようになった。子ども同士の交流・関わりがあることで、思いやりや協力・助け合いの場面が増えたり、友達や上級生の頑張りや良さが子ども達にも見えやすくなったりしたことが、大きな要因と思う。子ども達の元気な姿、明るい笑顔がさらに増えるよう、後期もそれぞれの指導部で工夫して取り組んでいきたい。		
	【後期(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
3 豊かな心と向上心	(5) 相手を思いやり助け合う心	特別の教科道徳の充実 異学年交流	4	
	(6) 自分を高めようとする意欲	目標達成に向けた取組 一人一人の活躍と称場の場の設定	4	
4 集団生活・集団行動	(7) 互いを認め合い自己有用感のもてる学級	互いのよさを認め合う場の設定	4	

[評価指標3]

(5) 相手を思いやり助け合う心

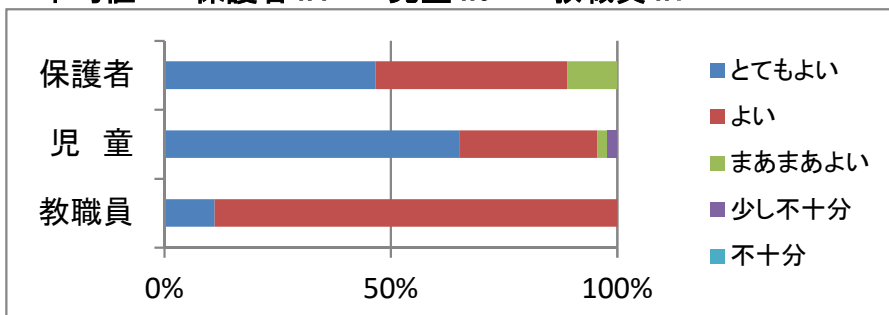
平均値 保護者4.3 児童4.5 教職員4.0



今年から「東小っ子わくわくタイム」という、縦割り班遊びの時間を設けている。1回目は7月に実施し、グループの6年生が中心となって「どこで」「何をするか」「必要なもの」を話し合い、活動した。1回目の活動で気付いたことや反省点を2回目になかせるよう子ども達の思いや願いに寄り添ってサポートしていきたい。

(6) 自分を高めようとする意欲

平均値 保護者4.4 児童4.6 教職員4.1



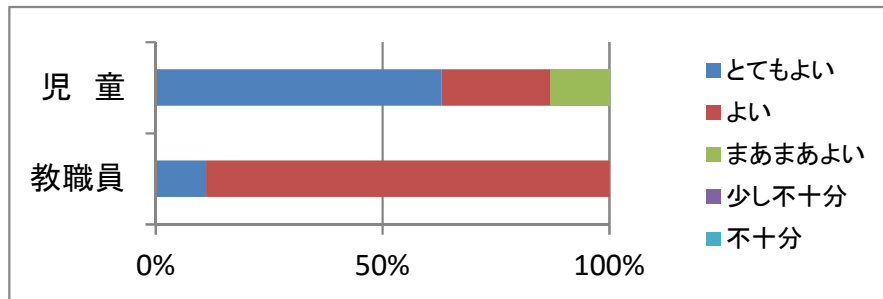
縦割り班掃除での異学年交流



[評価指標4]

(7) 互いを認め合い自己有用感のもてる学級

平均値 児童4.5 教職員4.1



全校のみんなで食べるランチルーム給食

コロナが一段落し、縦割り掃除やランチルーム給食がまたできるようになった。掃除や給食で上級生が下級生に仕事の仕方を教えたり、お手本になろうと張り切って頑張る姿が見られている。ランチルームでの全校給食は、学級給食とはまた違った良さや楽しさがある。放送委員会がクイズや〇〇ランキングの発表をしてみんなを楽しませたり運営委員が挨拶名人を紹介したりするなど、一体感が感じられる和やかな時間となっている。



ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

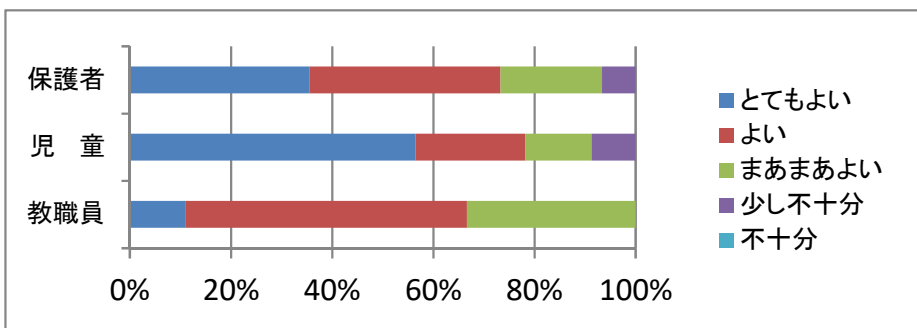
評価項目	自己評価A	協議会委員評価	協議会委員のコメント
食や運動を通して健康や体力への関心をもち、進んで健康な体づくりに取り組もうとしている。	前期 良好	良好	スポーツに関して、陸上、野球、水泳の活躍が素晴らしい。人数は少ないが、入賞や優勝、新記録を出している。体育の授業でも力をつけていて大変いいと思います。メディアでの改善は今後も継続してほしいで
校 自 己 改 善 策 の 概 要 と 学	【前期(→後期)】健康な生活習慣の定着では、保健指導や学校保健部会による「生活習慣とメディアに関する実態調査」を実施したことが数値が上がった要因と考えられる。これからもメディアコントロールを中心に健康な生活習慣についての指導を行っていく。望ましい食習慣の形成では、栄養職員による食に関する授業の実施やランチルーム給食にて苦手なものでも頑張って食べようとする児童がいることが数値が上がった要因と考えられる。しかし、好き嫌いの多い児童もいるため、委員会活動での呼びかけや、栄養職員による食育指導を継続して行っていく。体力と運動能力の向上では、体力向上活動を行ったことにより、子どもたち同士で体を動かそうという意識づけができたことが数値が上がった要因と考えられる。これからも、委員会活動を中心に体を動かす機会を設定し、全校で取り組んでいく。		
	【後期(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
5 保健・食育の状況	(8)健康な生活習慣の定着	保健指導の充実 家庭への啓発活動 健康な生活習慣アンケート	4	
	(9)望ましい食習慣の形成	給食指導を通じた食育 家庭への啓発活動 栄養教諭との連携	4	
6 体力づくり	(10)体力と運動能力の向上	体育の授業の充実 体力テストの活用 外遊びや運動の奨励 体育環境づくりと整備	4	

[評価指標5]

(8)健康な生活習慣の定着

平均値 保護者4.0 児童4.3 教職員3.8



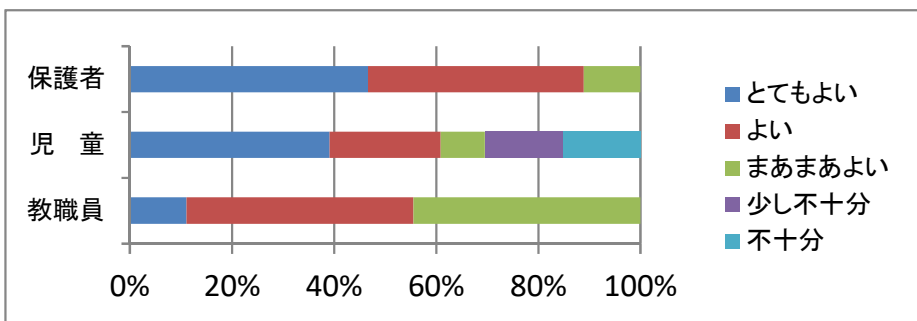
全校朝会(6月)

6月下旬に実施した全校朝会では、「生活習慣とメディアに関する実態調査」や「ONEONEカード」の結果から気になった点やメディアコントロールの必要性について確認をした。自校の実態を知り、メディアコントロールや「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを意識させることができた。

[評価指標5]

(9)望ましい食習慣の形成

平均値 保護者4.4 児童3.5 教職員3.7



食に関する授業(6月)

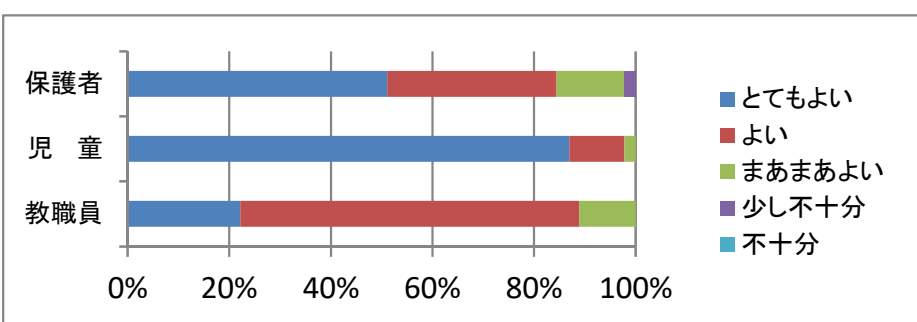
栄養職員から各学年ごとに食に関する授業を実施した。2・3年生では、「野菜」をテーマに、箱に入った野菜を当てたり、野菜の効果について確認したりした。また、苦手な野菜を食べるためにはどうしたらいいのか考えたことで、嫌いな野菜でも頑張って食べようとする児童がおり、好き嫌い無く食べようとする意識付けを行うことができた。



[評価指標6]

(10)体力と運動能力の向上

平均値 保護者4.3 児童4.8 教職員4.1



新体力テスト(7月)

縦割り班や学年ごとの練習を経て、全校新体力テストを実施した。本校の記録と県・全国平均と比較し、今後の体力向上に生かしていく。
※反復横跳びの様子

チャレンジデー(5月)

全校でさいがわタイムにハチくんダンスと健康委員会が主体となって体づくり運動を行った。また、5、6年生は教育長杯ロープジャンプXも体育の時間に実施した。これからも健康委員会を中心に全校へ運動することの大切さを呼びかけていく。



ア 児童の状況

IV 基礎学力

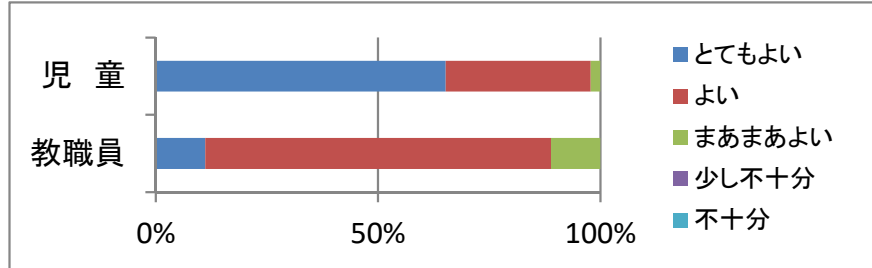
児童生徒の状況		自己評価A	協議会委員評価	協議会委員のコメント
基本的な学習習慣を身に付け、意欲的に学習に取り組む、学力を向上させようとしている。	前期	良好	良好	学力は、今いい状況だと思う。今日は授業を参観して、楽しくやっている学級が多く、授業内容が良いからだと思いました。活発な面も見られたので継続して進めてもらえればと思います。
	後期			
と自己校評の価改の善概要	【前期(→後期)】授業を見ていただく機会を通して子どもたちが鍛えられたり、授業改善に取り組んだりしたことが、全体的な評価の向上に繋がった。また、子どもや教職員の評価については、コロナが5類になり学習形態や学習活動の制限が緩和され、共感的・協働的な学び合いがより実施されるようになったことが、学び合いの充実にも繋がった。今後は、複式学級が2つになることも見据えた学習リーダーの育成と活用はもちろんだが、みんなで学び合いを進めていけるような授業の基盤づくりをしていきたい。また、ICT研修やICTを使った授業実践を積み重ね、効果的に活用できるようにしていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
7 学習への取組	(11) 基本的学習習慣の定着	聞き方・話し方指導の徹底 「学習の7か条」の徹底 ハンドサインの活用 ノートの使い方指導 家庭学習の励行	4	
	(12) 基礎学力の定着	学習が定着する授業の構築 パワーアップタイム 東小っ子テスト	4	
	(13) 主体的な学習態度	学び合いの場の確保 学習課題の吟味 指導方法の工夫	4	
8 諸検査の状況	(14) 学習状況調査・学力検査等の結果の改善	実態把握と課題分析 回復指導の実施	3	

[評価指標7]

(11) 基本的学習習慣の定着

平均値 児童4.6 教職員4.0



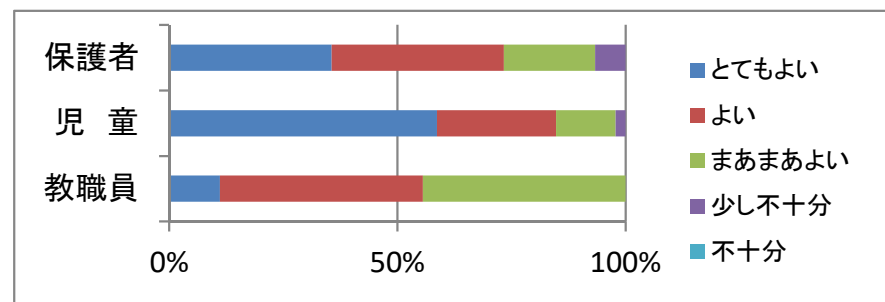
項目	月	火	水	木	金	合計
1. 机をこめて、じやまのあいさつ	8	6	6	6	6	30
2. ツインシート・ツイン学習	6	5	5	5	5	25
3. 目と鼻と口で、お話を聞く	6	6	6	6	6	30
4. 先生は大きな声で、おいこま	6	6	6	6	6	30
5. 先生はせすじをのびして、ゆいになく(全校)	6	6	6	6	6	30
6. へんぴはひつと、先生はく	1	1	1	1	1	5
7. じまんびしてから、休み時間(専科)	8	8	8	8	8	40
8. あいさつ 明るい声で自分から	8	8	8	8	8	40
9. ううはあそびをすく	3	3	3	3	3	15
10. ていびいな言をつかう	2	2	2	2	2	10
合計	53	60	77	77	77	244

東小っ子の約束チェックシート

基本的学習習慣の定着を目指し、学期始めにチェックを行う。できている部分には花丸を付け称揚しながら、2週目は全校と学級の落ちているポイント2点について意識的に取り

(12) 基礎学力の定着

平均値 保護者4.0 児童4.4 教職員3.7



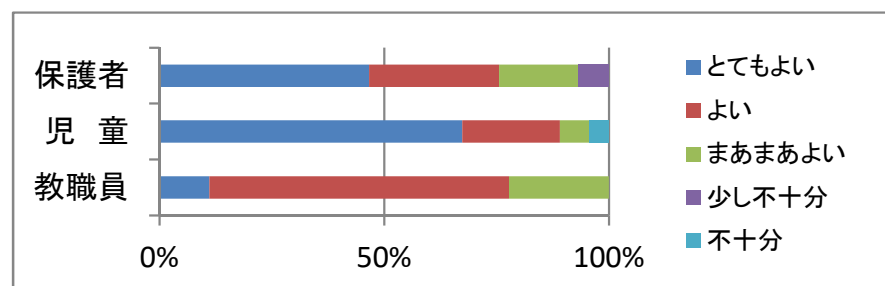
日々の授業や研究授業等を通じた児童の育成と授業改善

目指す子どもの姿を明確にし、その実現に向けて子どもを鍛えた。また、研究授業に関わる事前・事後の研修を通し、研究の方向性の確認や授業改善に取り組んだ。ICTを活用した授業実践にも取り組んでいる。



(13) 主体的な学習態度

平均値 保護者4.2 児童4.5 教職員3.9



【今年度の研究】

1 研究主題

主体的に学び、共に磨き合い、「分かった」「できた」を実感する授業作り
～「数学的な見方・考え方を働かせた、自分たちで学び合う授業」を目指して～

2 研究の重点

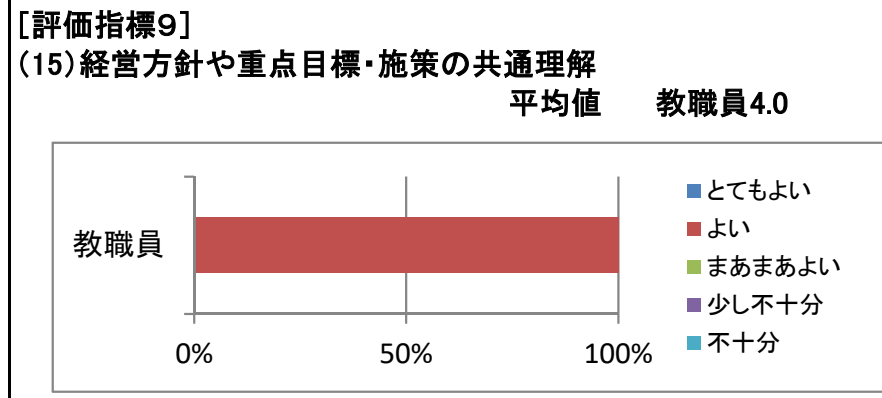
- ①ねらいを明確にした、数学的活動の充実
- ②児童主体で進める、秋田の探究型授業の実施

ア 児童の状況

V 組織運営

児童生徒の状況	自己評価A	協議会委員評価	協議会委員のコメント
重点目標の具現化に向けて、特色ある学校づくりが、計画的・組織的に推進されている。	前期 良好	良好	運動会の時、元気の人数が少なく準備するのにも運営するのにも大変だと思って見ていた。それを保護者の協力体制が良いことで助け合い、順調な運営ができていたので、これからもお互い協力してほしいと思います。
の自己評価の概要と学校	【前期(→後期)】指標9の教職員の学校運営参画に関しては、「目指す子どもの姿」を全職員で共通理解し、重点施策に取り組むことができた。また、各指導部の施策が現在の子どもの実態に即しており、取組の結果子どもに変容が見られことが評価の向上に繋がったと考えられる。指標10の教育課程の編成と実施に関しては、昨年の反省を受けてキャリア教育の計画を見直し、各学年の指導計画に基づいて学習が進められ、様々な体験が子どもたちの成長に繋がったと考えられる。授業改善と指導力の向上に関しては、所長訪問や東北6県教育長研修会など、1学期に授業を見ていただく機会があり、全校で同じ方向に向かって授業改善に取り組むことができた。後期も様々な研修の機会を活用して更なる授業改善と指導力の向上に努めたい。		
	【後期(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
9 教職員の学校運営参画	(15) 経営方針や重点目標・施策の共通理解	実態把握による重点施策(東館3つのH)の設定と明示	4	
	(16) 各指導部の運営と実践	「東館3つのH」の施策の提案 組織的な取組の実践	4	
10 教育課程の編成と実施	(17) 特色ある教育課程	ふるさとキャリア教育の推進 円滑な教育課程の実施	4	
11 職員研修	(18) 授業改善と指導力の向上	研究テーマに基づいた授業実践 授業研究会の充実 各種研修会への参加	4	

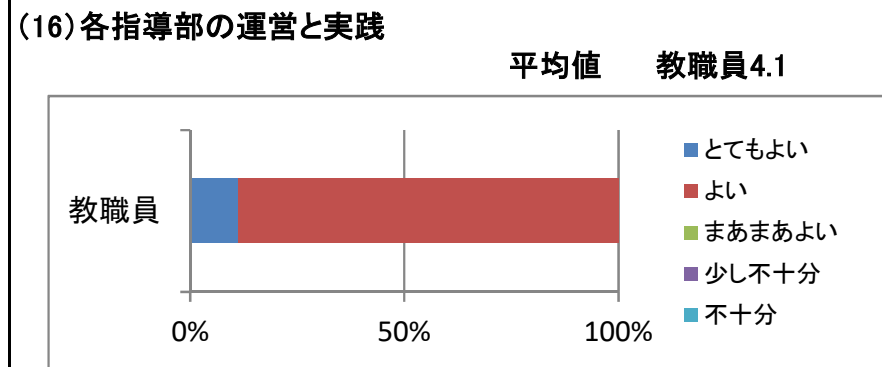


☆「東館3つのH」の施策の提案・実践
4・8月 学習習慣を身に付けよう(学習指導部)

東小っ子の約束 チェックシート 1ねんくみ

☆権利の全てよりかき、○だった児童の数を記入する。

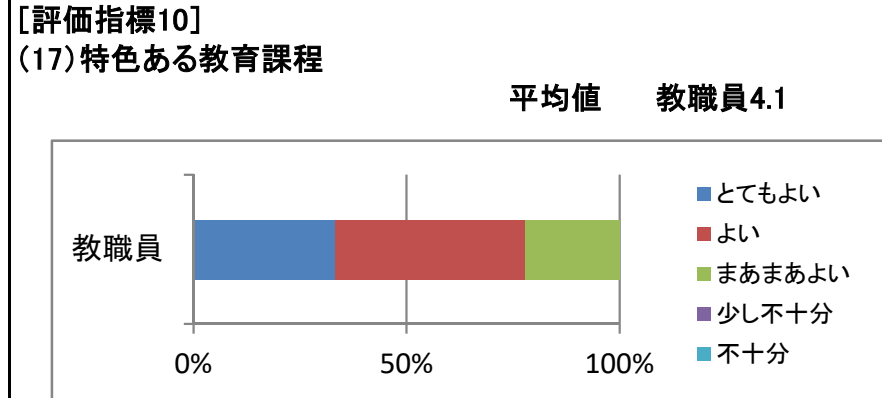
月	日	月	日	月	火	水	木	金	合計
学	1	4月	10日						
習	2	チャイルドタイム学習							
の	3	目と鼻と口で お話を聞く							
フ	4	発表は大きな声で さいごまで							
か	5	文章はせすじをのびしていいように書く							
ま	6	へんじは「はい」と 元氣よく							
ま	7	じゆんが書いてから 休み時間							
ま	8	あいさつは 明るい声で自分から							
活	9	うつかは右側を歩く							
活	10	ていねいな言葉をつかう							
合計		～めがせ 満点～							



・年度初めと夏季休業明けに学習の7か条、あいさつ、言葉遣い等をカードでチェックし、学級全体でできていない項目を確認し、重点的に指導することができた。

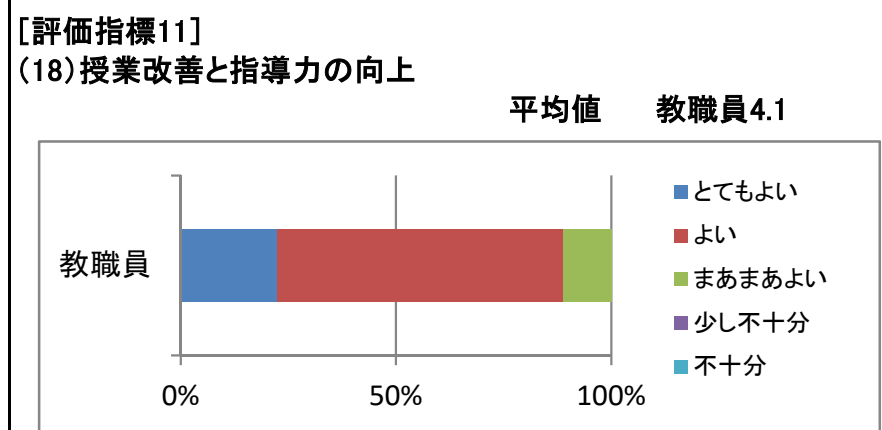
5月 健康力アップパート1(保体指導部)
～目標を決めて、計画的に体力アップを目指そう～

・運動会前に徒競走の目標を設定した。目標達成で健康通帳へ貯金できることや、意欲的に取り組めるように縦割り班ごとに走る日を設定したことで、体力アップに主体的に取り組む姿が見られた。
・規則正しい生活と望ましいメディアの活用について呼びかけた。



6月 実行力アップパート1(生徒指導部)
～元氣なあいさつで、にこにこスマイル！～

・「自分からあいさつ」ポイントカードを活用し、誰にでも自分から進んで笑顔であいさつができるよう意識付けることができた。
・あいさつの向上を目指し、きちんとあいさつができた日は玉入れの掲示にシールを貼る「あいさつ玉入れ合戦」を行い、自主的なあいさつが定着した。この取組後も、自主的なあいさつができるよう指導を継続した。



☆各学年のふるさとキャリア教育☆

- 1年: 学校をたんけんしよう
- 2年: まちたんけん
- 3年: とんぶり料理
- 4年: 大日神社を調べよう
独鈷ばやしを伝えよう
- 5年: 椎茸植菌・収穫、ふるさと探検
金山太鼓を伝えよう
- 6年: 椎茸植菌・収穫
お仕事調査隊
地域の歴史・伝統行事を伝えよう

全校: とんぶり活動(種まき・草取り・収穫・販売準備・販売)

3年 とんぶり料理(桂桜高校)

ア 児童の状況

VI 保護者・地域との連携

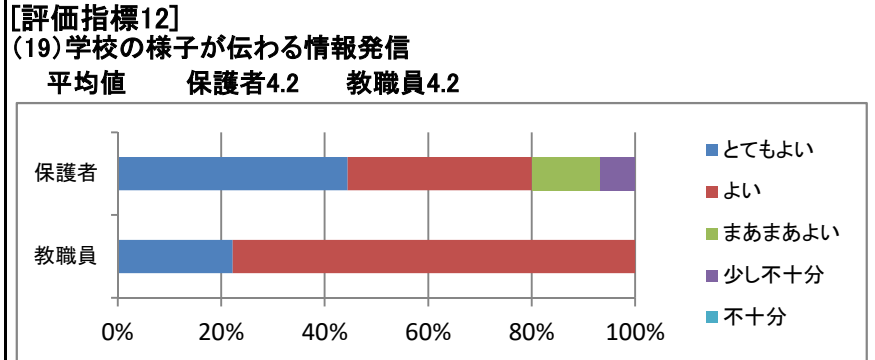
評価項目	自己評価A	協議会委員評価	協議会委員のコメント
学校の取り組みが分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好
	後期		

改自善己策評価の概要と学校の

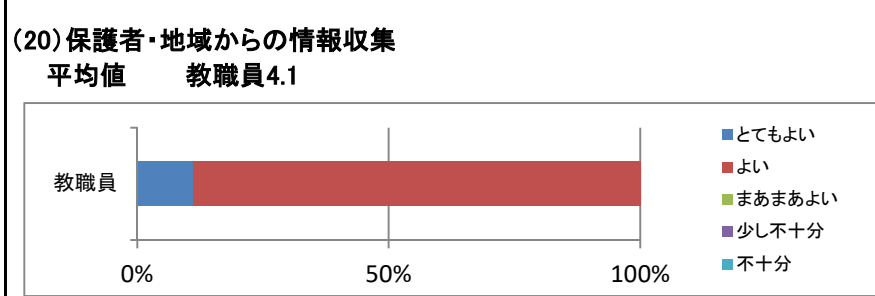
【前期(→後期)】
 昨年の前期評価と比べると全体的にポイントアップとなっている。(19)保護者4.0⇒4.2、教職員3.9⇒4.2、(20)教職員3.9⇒4.1、(21)保護者4.1⇒4.3であった。情報発信として、毎月の学校報や、学級通信、各行事を事前に学校サイトでの紹介による成果である。また、登校時、校門に立つ校長の児童への声かけや保護者との情報交換や、職員の丁寧な対応が学校への安心感や話しやすい関係に繋がったと考える。そして、様々な学習活動や体験活動に保護者が関わる機会が増え、コロナ以前の取組に戻ってきたことも評価アップに繋がったと考える。課題として、(21)教職員4.3⇒4.2と低下していた。これは豊富な地域素材や人材を効果的に活用できていないと評価したためではないかと思うため、効果的な活用について検討しながら、さらに充実した活動ができるように取り組んでいきたい。

【後期(→次年度)】

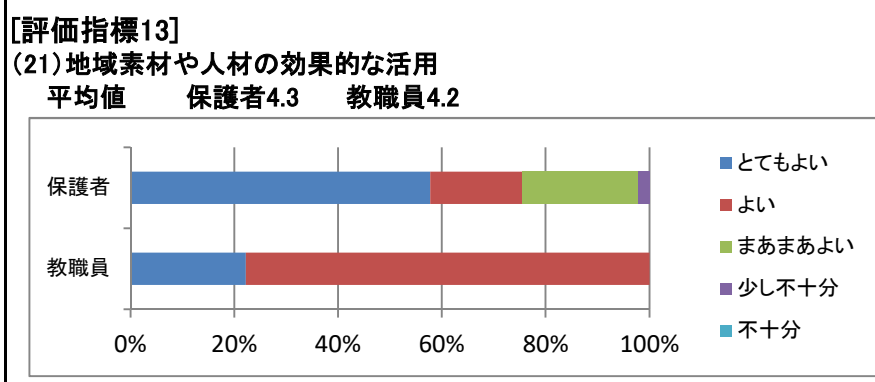
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
12 情報の受発信	(19)学校の様子が伝わる情報発信	魅力ある学校報・学年通信・ホームページ・ブログ等による情報の発信	4	
	(20)保護者・地域からの情報収集	PTA諸会合 家庭訪問 個人面談 保護者アンケート 学校運営協議会等の開催	4	
13 地域の教育力の活用	(21)地域素材や人材の効果的な活用	地域学習材の活用 体験学習の推進 授業や諸活動でのゲストティーチャーの活用	4	



- 【学校の様子が伝わる情報発信等】**
- ①毎月末発行の学校報「犀川」の学区全戸配布
 - ②隔週発行の各学級の「学級だより」
 - ③ホームページによる学校経営方針等の明示
 - ④ブログによる日々の学習活動の紹介
 - ⑤新聞記事への掲載(学校行事・スポーツの活躍)
(バス乗車指導、とんぶり各活動)
 - ⑥テレビ放映(とんぶり種まき、苗植え)
 - ⑦一斉メール配信
(テレビ放映のお知らせ、熱中症予防・熊への注意等)




- 【保護者・地域からの情報収集】**
- ①PTA総会・1学期末PTAにおける学級懇談の実施
 - ②7月のPTA懇親会等での情報交換
 - ③夏季休業中の保護者との個人面談
(7/24～7/28)
 - ④各学年親子レクでの情報交換
6/9 5年部 8/26 4年部
9/9 1・2・3・6年部合同




- 【地域素材の活用】**
- ①体育(運動会)…全校独鈷ばやし披露
 - ②総合的な学習の時間
全校体制での「とんぶりの栽培」
種まき1・2年 苗植え販売3・4年 畑草取り1～6年 収穫全校
 - ③3年「とんぶり料理」
桂桜高校生と合同でとんぶり料理[会場:桂桜高校]
 - ④4年「独鈷ばやし伝承」…独鈷ばやし太鼓練習
 - ⑤5年「大葛金山太鼓の伝承」
 - ⑥5年「比内地域合同ふれあい体験教室」…大館少年自然の家
 - ⑦5・6年「椎茸植菌・収穫」

- 【人材の効果的な活用】**
- ①正課クラブ「将棋クラブ」
山田勝巳さん
 - ②椎茸植菌・収穫
角森誠市さん、山本隆仁さん
 - ③とんぶり栽培
本間均さん
 - ④金山太鼓
加賀谷廣美さん
 - ⑤交通教室・バスの乗り方教室
大館警察署や独鈷駐在所長、秋北バス皆さん
 - ⑥食育指導
比内給食センター栄養教諭



7/1 家庭教育学級
「インターネットの健全利用について」

北教育事務所 櫻庭 直 氏を講師に、児童、保護者、教職員が参加して、犯罪やトラブルに巻き込まれないための使い方を講話いただいた。親子で「健全利用」について学ぶ時間にする事ができた。



7/8 桂桜高校生ととんぶり料理づくり

3・4年児童が、とんぶり料理作りに桂桜高校生と一緒に活動し、調理方法など高校生に教えてもらいながら、楽しく活動した。また児童の祖母も数名参加して、一緒に楽しく料理を作ることができた。